

koedo-kawagoe
OMOTENASHI

小江戸川越 おもてなし

特集

明治の川越

川越の現在につながる、先人の軌跡

もっと知りたい！

ときも

連載

おもてなしのこころ③

会員活動紹介

川越幸すし／炬燵いっしょけんめい／CHINCHOGE CAFE/BAR
Trattoria Caro／TePAN Le OMUS

2019.WINTER



時 薫るまち 川越

小江戸川越観光協会

きもので初詣

好評！「きも」ので初詣ツアーを今年も企画しました！

袖を通してみたかったきもの／お気に入りのきものを着て

喜多院・氷川神社に初詣に出かけましょう！



喜多院



氷川神社

平成31年

1 / 18 (金) 10:00 集合 14:00 解散(予定)

コース 蓮馨寺 ⇒ 喜多院・氷川神社 ⇒ 小江戸蔵里(八州亭)でお食事の後解散
(本ツアー貸切バスで移動)

集合場所 蓮馨寺(川越市連雀町7-1)

定員 先着45名(事前予約制)

参加費 2,800円(ランチ代・税込・当日支払)

問い合わせ先・お申込み先 小江戸川越観光協会内「川越きもの日実行委員会事務局」
tel:049-227-8233 fax:049-227-8236

お申込書

お名前	電話番号
ご住所 〒	
参加人数	人

新年を迎えて

小江戸川越観光協会 会長
糸原恒久(蓮馨寺住職)



会員の皆様におかれましては、日頃より当協会にご理解ご協力を賜り心より御礼申し上げます。川越はすでに、年間700万人以上が訪れる観光地となり、首都圏の観光拠点として、各方面からの熱い注目を集めています。また、平成30年は明治初年から150年、文化史跡の現、埼玉りそな銀行川越支店建築100年、また、蔵造りの町並みが形造られた契機となった川越大火以来125年という、各々意義深い年だったであります。更に二年後にはオリンピック競技の開催地として、より多くのお客様を迎える時期を迎えています。新会報誌の発行も2年目となり益々好評を頂いておりますが、今後とも、当協会は川越の安定した観光地としての体制確立と品位ある発展に

向けて、皆様と共に前進してまいりたいと念願するものであります。

国際観光都市へ

今、川越には多くの外国のお客様がお見えになることが日常的現象となりました。近隣の国々のみならず、欧米の方々があこがれの目を持って、おいでになる状況が生まれています。

「国際化」、今やこれは川越の新たなイメージ、目標となるキーワードとなっております。既に各商店様や、観光案内所など、外国語会話対応の体勢が整いつつあることは、誠に有難い事でありです。

また、市当局様、商工会議所様、観光協会共々に協力し合い、各国との親善交流も積極的に始まっております。このような喜ばしい環境の中、更に大切なことは、市民の皆様お一人お一人が観光大使としての意識を持って頂く事ではないでしょうか。「人は、人の心によって生かされ集う」と言われます。

観光の未来に向けて

これまで、当協会は近隣の各都市の協会様と手と手をたずさえ、地域の輪を広めつつ、互いにお客様の相互訪問や回遊の提唱を計ってまいりましたが、



蓮馨寺

この度、国の助成を仰ぎつつ、市当局様、商工会議所様と一体になって、"DMO"という組織を立ち上げることとなりました。これは観光来訪の皆様や市民の皆様に対し、観光はじめ地域商店街や企業活動の内容、商品やあらゆるイベントの情報など、多岐にわたる広範囲な情報を即座に提供し連携する中で、より高い経済効果を地域にもたらし、同時に観光事業の活性化を目指す新システムであります。これから、会員の皆様をはじめとする多くの市民の方々のご賛同のもとに、観光事業の発展と地域への貢献を真摯に目指してまいります。皆様におかれましては、更なるご理解とご協力、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

koedo-kawagoe
OMOTENASHI
2019.WINTER

Contents

- 1 新年を迎えて
- 2 特集
明治の川越 川越の現在につながる、先人の軌跡
- 8 もっと知りたい！
川越市マスコットキャラクター“ときも”
- 10 会員活動紹介
- 12 連載 おもてなしのこころ③
- 14 川越市観光案内所ってこんなところ／おもてなし Information

平成30年は明治150年という記念の年となりました。
川越は歴史の重層のうえにいま現在が息づいている街。
現在に残る町並みが形成されたのは

明治26年（1893）：（ここから125年）の川越大火の後、
復興まちづくりのシンボルとして選ばれたのが蔵造りでした。
復興がいち早く遂げられた背景には、

寛永15年（1638）：（ここから380年）の大火後に
藩主となった松平信綱が、道路拡幅など防火対策に
重点を置いた町割り（都市計画）を実施していたことが
挙げられます。知恵伊豆信綱による整備は今も

旧市街の都市構造の基礎となり、
様々な場所に往時の面影をとどめています。

江戸時代の町割りの上に、明治には蔵造りの町並みが
形成され、大正時代になると、西洋文化の影響を受けた
八十五銀行本店（埼玉りそな銀行川越支店）の建物が新しい
シンボルとして大正7年（1918）：（ここから100年）に加わり、
昭和初期に連なる庶民派の洋風町家も登場しました。
それぞれの時代を映す建築、それと共に伝統的な生活文化を
今に継承するわが街。いくつもの記念年が重なった年を
越しつつ、これまでに学び、これからへの展開に
ぜひ思いをはせてみましょう。

特集

明治の川越

川越の現在^{いま}につながる、先人の軌跡

- 明治4(1871)年
川越藩が廃藩置県によって廃止され、
新たに川越県が成立。
4ヶ月後に入間県に吸収、明治6年
(1873)には熊谷県、明治9年(1876)
に現在の埼玉県となる。
- 明治11(1878)年
第八十五国立銀行設立
- 明治12(1879)年
仙波河岸の開設
- 明治22(1889)年
川越町の発足
- 明治26(1893)年
川越大火
- 明治27(1894)年
時の鐘再建
- 明治28(1895)年
川越鉄道(後の西武鉄道)開通
- 明治30(1897)年
星野女塾(現星野高等学校)開校
- 明治32(1899)年
県立川越中学校(現川越高校)開校
- 明治33(1900)年
川越商業会議所(現商工会議所)設立
- 明治39(1906)年
川越電気鉄道開設
- 明治41(1908)年
県立川越染織学校(現川越工業高等
学校)開校
- 明治43(1910)年
未曾有の大洪水、川越織物市場開設
- 明治44(1911)年
県立川越高等女学校(現川越女子高
等学校)開校

旧八十五銀行本店本館 建築100年

明治の創業から140年、
街とつながり続ける金融機関
埼玉りそな銀行川越支店



第三十三代の支店長
伊勢弘茂氏

川越のランドマークといえば、時の鐘と同じくらい名前があるのが、埼玉りそな銀行川越支店の建物だろう。今でも「さいぎん（旧埼玉銀行の愛称）」と呼ぶ人もいるのではないだろうか。街の中央に位置し、大きなドームが川越の空に映える。建築は大正7年、当時国内では珍しく、鉄骨の入ったSRC造だ。

明治11年5月、この地で第八十五国立銀行として設立されてから、統合や合併を経て現在は埼玉りそな銀行川越支店として、営業を続けている。

「やはり、川越支店の勤務は特別です」と語るのは、第三十三代支店長の伊勢弘茂氏。「明治時代にこの街の人々の尽力がなければ、現在の銀行は存在しなかったとも言えます。埼玉県下で初めて国立銀行として設立されたのは、川越が経済の中心地であった証。支店

長就任が決まった時は身の引き締まる思いでした」。

以来140年もの間、埼玉りそな銀行川越支店は街との密接な関わりを持ちながら、発展を続けている。敷地内を開放したポケットパークの整備や、市内ライトアップイベントへの積極的な参加、また2018年からは川越市のDMO（官民などの幅広い連携によ



現存する貴賓室（現在は応接室として使用）

明治の大火

明治26年に当時の川越町の約4割が焼失したと言われる川越大火。
その後の再建が現在の街並みを作っています

参考資料

- 「第2回企画展 写真展
明治・大正・昭和の川越」
1990 川越市立博物館
- 「第44回企画展 蔵・倉・クラ
ー蔵造りと川越の町並みを知ろう」
2017 川越市立博物館
「博物館だより 第8号」
1993 川越市立博物館



明治10年代の鍛冶町通り。志義町の角から見た風景。右端が松屋呉服店

明治26年3月17日、午後8時半頃、養寿院門前から出火し、川越の街に瞬く間に広がった大火は翌日の午前5時に鎮火するまでに1302戸を焼失したと言われている。当時の川越町の全戸数は3315戸。約4割が焼失したが、死傷者はいなかったと伝えられている。

市街地の大半が失われたこの火災では、当時の新聞の号外や迅速測図などで出火元や焼失範囲が今に伝えられている。この大火では、火元からは離れている大手町や南久保町などへの飛び火による焼失、また当時茅葺の屋根が多いことが広い範囲で延焼の原因となった。一方で当時から土蔵など防火建築となっていた家や店舗（現大沢家住宅の小川文平宅、利根川筆吉宅、松屋呉服店など）は火中においてもなお焼失を免れ、大火後の再建の時に防火建築の手本となり、以後蔵造りが隆盛していった。この時に全焼した土蔵は96棟、半焼した土蔵は237棟あり、当



大正6年 窓口での様子



大正7年 完成した当時の営業室

時の川越町では土蔵だけでも数百棟あったことがわかる。

大火後は、焼失を免れた蔵造りや土蔵を見た商人により、蔵の建設が始まった。その意匠などは、当時の日本橋・京橋などをお手本にしたと言われている。

川越は江戸時代にも寛永15年（1638）、享保3年（1718）、文政12年（1829）にも甚大な被害が出た大火を経験している。大火後はそれぞれ城下町の整備や火の見櫓の設置、火除けの杉の植林、火消し人足など、大火に強い城下町を目指した施策が行われていたことがわかる。

明治の大火以降、川越で大規模火災



八十五銀行本店全景（大正7年）



建築中の八十五銀行本店社屋（大正5年7月）

って地域観光を積極的に推進する法人組織）にも参画する。

埼玉銀行に入社した最後の代、という伊勢支店長。「川越市の指定金融機関であるということもありますが、とにかく街との密接な関わりが重要だと考えています。お客様のことはもちろんですが、ときどき街歩きをしながら観光客の様子を見てみると、二十数年前とはやはり格段に変貌しているのがわかります。訪れる人の数はもちろんですが、お店の様子も変わってきています。これからのこの地で暮らしたい人、商売をしたい人をいつも応援できる銀行でありたいと考えています」。

は発生していないが、メインの観光地となった一番街は、江戸時代から商業で栄えた川越商人の知恵が今でも生き続けている。



大火後、明治44年頃の志義町通りの写真



川越町焼失之図（川越市立博物館蔵）
一軒ごとの居住者名のほか、焼失を免れた家も記されている

写真で見る明治の川越Topics

明治時代、川越にはさまざまなことが起こっていました。今の川越に通じる明治の代表的な6つのトピックスを、貴重な古写真とともに紹介します。

※「第2回企画展 写真展 明治・大正・昭和の川越」(1990. 川越市立博物館)より転載

明治23年

川越北尋常小学校の上棟

現在の川越小学校です。明治23年に川越尋常小学校として郭町に創立し、同35年に北尋常小学校と改名しました。明治38年に校舎を新築したときの写真です。当時の生徒数は858人、学級数16、職員15人でした。



明治43年

赤間川の氾濫

明治43年8月2～9日、連日続いた大雨のため大洪水となりました。県内では死者324人、流失家屋1,632戸という未曾有の大災害となり、川越でも赤間川が氾濫し、土地の低い地域が水没しました。



明治34年

川越の米穀市

明治34年に川越米外三品取引所が解散すると、米穀取引の中心は、志義町（仲町・松江町二丁目）に移りました。志義町通り周辺には、十数軒の米問屋が集中し、2・6・9のつく日の月9回の定期市が開かれました。写真は、足立要米穀店です。



明治43年

川越織物市場

川越織物市場は、明治43年3月、仲買商たちが中心となって鉄砲町（松江町二丁目）に設立されました。写真は4月の開市の頃のもので2棟の長屋は、棟割になっていて、各仲買商が、商品を置いて取引をしていました。

明治39年

川越電気鉄道

川越電気鉄道は、通称「チンチン電車」と呼ばれ、明治39年4月に開通しました。30分間隔の発車で大宮までの所要時間は50分を要しました。これは荒川手前の黒須停車場付近の写真です。



明治末期

新造船の進水式

明治末期頃の寺尾河岸での写真です。寺尾河岸には2軒以上の船大工がいて、注文に応じて船を作っていました。進水式には建物の建前と同じように幣串や弓矢を建ててお祝いをしました。





小江戸川越観光協会
オリジナルグッズを
ご紹介します！



ときもストラップ
500円

小江戸川越観光のお土産に
最適です。



ときもぬいぐるみ(小)
800円

机の上で、いつも一緒。後
ろ姿もかわいい。



ときもぬいぐるみ(中)
1,200円

子どもたちに一番人気のサ
イズです。



ときもぬいぐるみ(大)
2,000円

大きなときもは、ぜひお店
の入り口に！



川越いちも茶
150円

ほのかに香る甘みがやみつ
きになります。



川越の水
120円

時の鐘のパッケージがうれ
しい、川越の天然水。



川越まつりDVD
2000円

約45分間、祭りの迫力を楽
しめます！



蔵の街



時の鐘

名刺台紙(蔵の街・時の鐘)
各500円(100枚)

名刺をちょっとおしゃれに
してみませんか？

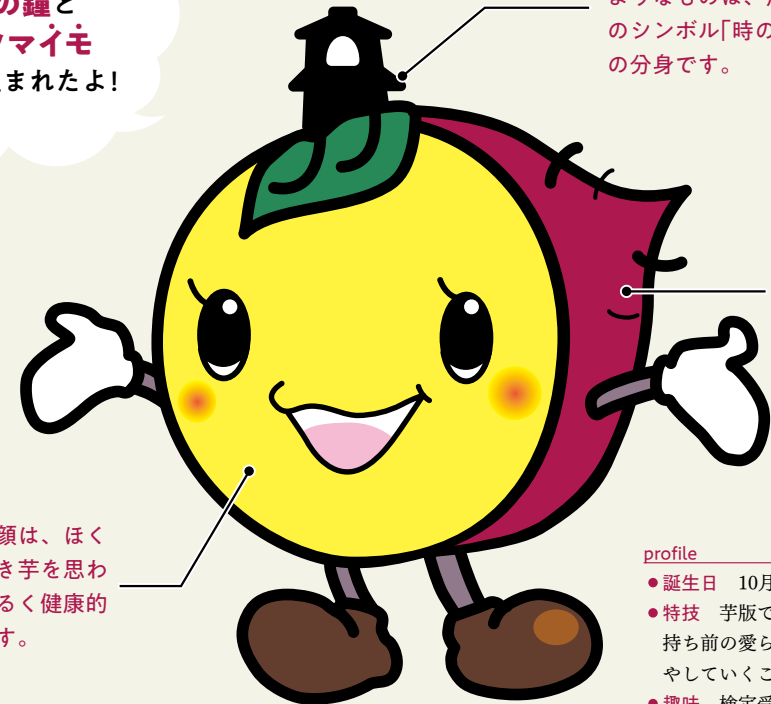
\\ もっと知りたい! //

川越市マスコットキャラクター

ときも

時の鐘と
サツマイモ
から生まれたよ！

頭の上の黒い帽子の
ようなものは、川越
のシンボル「時の鐘」
の分身です。



体は「紅赤」(べに
あか)という品種と
同じ紅赤色。

まあるい顔は、ほく
ほくの焼き芋を思わ
せる、明るく健康的
な黄色です。

profile

- 誕生日 10月13日(さつまいもの日)
- 特技 芋版で自分の姿をスタンプすること。
持ち前の愛らしさで芋づる式に友だちを増
やしていくこと
- 趣味 検定受験、畑しごと
- 好きな食べ物 焼き芋、B級グルメ
- 好きな言葉 九里よりうまい十三里、友だ
ちの友だちは皆友だち
- 座右の銘 Time is money (時は鐘鳴り!?)

川越市の公式キャラクター「ときも」は

その愛らしさで市内外でも人気のキャラクターです。

川越市へ申請・許可を受けると、イベントで着ぐるみを使用したり、
キャラクターを使った商品を販売することもできます。

※値段はすべて税込です。

※委託販売を希望される場合は、小江戸川越観光協会までお問い合わせください。

※札の辻観光案内所ではすべての商品を取り扱っています。

詳細は川越市役所 HP をご参照ください。

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>



老舗が取り組む、新しい試み。

現在、海外からも多くの観光者が訪れる川越で、特にムスリムの食事に着目した老舗店「川越幸すし」。

ハラール料理への取り組みを伺いました。



若女将の長島貴子さん

ムスリムへの偏見を取り払って 見えてきた、新しい風景

国内外から様々な人種が訪れる観光地・川越。誰でも同じものを食べられるわけでもなく、宗教的な事情から「食事」を制限をされる人々も生きています。

特に豚肉やアルコールなどが厳しく制限され、日々の祈りの儀式を欠かせないイムラム教徒の旅行者に対して、どのように対応していけば良いのでしょうか。

「ムスリムのための特別」な料理ではなく、ムスリムも「食べられる料理を提供しよう」という考えで実践しています。同じ内容でも日本人も満足出来る和食。偏見をなくす、という意味でも、ムスリムの人々にも気兼ねなく日本食を楽しんでいただけにいる様子をみると、実践して良かったと感じています」と語る



祈りを捧げるための部屋。
手足などを清める設備も

日本で使われているハラール
対応の食材・調味料

ハラール対応の和食

川越幸すし

川越市元町 1-13-7
049-224-0333
平日 11:30-15:00 (L.O.14:00)
17:00-22:00 (L.O.21:00)
土日 11:00-15:30 (L.O.14:30)
17:00-21:00 (L.O.20:00)
<https://www.kawagoe-kousushi.com>

入できるお土産の提供を始めています。このような情報はやはりインスタグラムやフェイスブックなど、SNSからの発信が多い、と語る長島さん。受け入れる側の姿勢をもう一度見直して、本当の日本の文化、そしてこの土地の良さを体験を持って伝えていくこと。世界を視野に入れたおもてなしが、川越でも始まっています。



ハラール対応に関する講演会も開催している

花の香りのように、
いつも街に寄り添う店に



スタッフが考案した内装も楽しんで！

CHINCHOGE CAFE/BAR



川越市脇田町 4-16
平和ビル 2F
049-222-3366
11:30-23:00 (L.O.)
不定休

2014年からクレアモールで開業した CHINCHOGE CAFE/BAR。お酒落な店内とお得なメニューで女性の利用率が実に 95% を占める。1 日を通して、地元住人の会合やママ会、観光帰りのグループ、休日は結婚式の二次会や飲み会など、利用内容は様々だ。

宵の一番街で味わう、
本格鉄板焼



わくわくできるこの街が大好きです

Te'PAN Le OMUS



川越市幸町 8-11 明文館 201
049-298-6377
12:00-14:30 (L.O.)
15:30-21:00 (L.O.)
火曜、第 1・3 月曜定休
<https://nobeer-nolife.com>

「風情がある夕方の時の鐘を楽しんでもらいたい」。オーナーがこの街に惚れ込み、2015 年に開業。あまり馴染みのない場所に飛び込むことへの躊躇はなく、さまざまな活動にも積極的に参加している。現在は観光に関わる新しい取り組みとしてハラールにも対応した。

川越に吹き込む、新しい風。

老舗店が多いことで知られる川越の街で、
新しい取り組みを積極的に行う会員の店舗をピックアップ！

飲食店のつながりを、
もっと深めていきたい



川越全体を盛り上げていきたい！

炉端 いっしょけんめい



川越市中原町 1-2-2
第 2 桜進ビル 2A
049-226-2080
火～土・祝前日
17:00-翌 1:00
日・祝日
17:00-23:30
月曜定休
<http://www.take-haru.co.jp>

とにかく高いリピーター率を誇るいっしょけんめい。経営する株式会社竹悠は、川越市駅前にも二店舗を展開している。立ち飲み、バルといずれも異なる魅力が街の人を惹きつける。飲食店のつながりを大切にすることで、目指すのは「1 日中楽しめる川越の発信」だ。

秘密にしておきたい！
イタリアンの名店



地域の方には感謝の言葉しかありません

Trattoria Caro



川越市連雀町 14-2
シャトー連雀 1A
049-299-8959
11:00-14:30 (L.O.)
17:30-21:30 (L.O.)
火曜定休

大正浪漫夢通りに位置するお店は、少し奥まったところに入り口があり、落ち着いた空間で食事が楽しめる。平日は地元客が多いが、近年の休日の昼は日本人観光客がほとんど。充実したメニューに加え、今後は川越ならではの食材を活かしたものを考案していく予定だ。

おもてなしの ところ ③

料亭山屋
松山 潤 氏

今回のゲストは明治150年にちなみ、明治元年に創業された料亭山屋の6代目、松山潤さん。日本の文化、伝統を守りながら新しい時代に対応していく苦勞、そしてなによりも市内外からいらっしやるお客様へ、時代を超えたおもてなしの心を伺いました。



写真 中村香奈子

加藤 現在の山屋さんは明治元年からこの場所、横田五郎兵衛（江戸時代から川越で隆盛を極めた伝説の豪商）の別邸で料亭を営まれているのですね。松山 はい、そうです。資料上では明治の川越大火で焼失したという報告もあるようですが、おそらく全焼はしておらず、当時の建屋が現存しています。加藤 川越には明治創業の老舗が多くありますが、もともとは現埼玉りそな銀行の裏で仕出し屋さんをされていたとか。

松山 江戸末期は仕出し料理屋を営んでいました。横田五郎兵衛宅の並びだったので、馴染みもあり別邸をお譲りいただいたのではないのでしょうか。ちなみにその前は呉服問屋だったと聞いています。

この業界は「待合茶屋」「見番（芸妓）」「料亭」として古くから成り立っていますが、昔は料亭といっても料理は仕出し屋さんから納めることが多かったようです。昭和初期までは芸妓さんも50名近くいたと聞きます。いまではなかなか見られない料亭文化が川越でも盛んでした。

加藤 川越は江戸時代から商業でも栄え、特に後期からは「江戸の奥座敷」といった趣も感じられます。明治になってからも政府高官や軍人が足繁く通い、おそらく山屋さんでさまざまな政

が話し合われたのではないかと推測されますが。

松山 廃藩置県以降、「川越県」ができたように、まさに隆盛を極めていた地だと言えますね。山屋でも多くの方がいらっしやっていたと思いますが、残念ながららどなたがいついらっしやったか、という資料は現存していません。政治家だけでなく、有力な商人たちの接待の場所として利用されていました。

また昭和四年に霞ヶ関カンツリーができたときには、ゴルフ場のクラブのレストラン事業も山屋が請け負っていました。戦中ゴルフ場の営業が中止されたからは撤退しましたが、当時からゴルフを終えて山屋で一風呂浴びて……というお客様も多かったと聞いています。

加藤 戦中・戦後はいかがでしたか。松山 やはり厳しい時代でしたね。軍隊の上官の方々のために、寮や宿舍の役割を果たしていたこともあります。



加藤忠正（専務理事）



中庭（明治期）

庭にはいくつも防空壕が掘られたそうです。

加藤 創業百五十年といえば、時代の波をいくつも乗り越えてきておられます。いま、川越はまた観光都市として新しい局面を迎えていると思いますが、長くこの地で商売をされてきたご当主からみて、川越の現状はいかがでしょう。

松山 若い人々が川越の街で活躍し、多くの新たな店舗ができるのは賑わいとしては素晴らしいと思います。一方で、この地でたくさんの方々の苦勞をしながらずっと愚直に商売をされている方もいることも事実。この両者がいること

こそが川越の魅力だと感じます。

手軽に多くのことを自己発信し、営業できることも大切ですが、例えばこの料亭という営業形態をみると、一見無駄な苦勞とも思える作業が山積みです。それでも、季節の花を活け、掛け軸を変え、毎日庭をはき、打ち水をし、長い廊下を拭きあげるという行為は、手間の一言では片付けられない和の文化。ライフスタイルが変わってきたいまこそ、伝統産業は時代と戦いながら折合いをつけていくことが多いと思います。

加藤 山屋さんでは具体的にになにか新しい取り組みをされていますか。

松山 今は予約なしの飛び込みのお手軽なランチをしています。施設を維持



奥の間（明治期）

していくためにも単純に価格を下げることはできません。ですが、ある限定の中で、敷居にハシゴをかけて上りやすくすることはできるのではないかと考えてみました。ここで店を知って頂き、その後結婚式や慶事仏事、接待でご利用いただくお客様も増えてきました。また外国人対応も、できる限りの努力はしています。古い店だからこそ、守るところは守りつつ、新しい時代にも対応する必要があると思います。

そして、おもてなし、という意味においては、店の古い・新しいは関係がないのではないのでしょうか。「どうしたら喜んで頂けるか」という思いは理屈ではありません。なかなか厳しい現実ではありますが、やっぱり山屋に来てよかった、というお客様のお言葉があるからこそ、頑張れる所は多いです。

加藤 本日はありがとうございました。

松山 潤

明治元年創業の料亭山屋6代当主。
小江戸川越観光協会理事など歴任。

料亭山屋
川越市幸町 11-2
049-224-0048



1 (公社)小江戸川越観光協会 札の辻観光案内所



外国人観光客への対応を
もっと進めていきたいですね。
おすすめは
仙波東照宮と旧山崎家別邸。

観光協会職員

増田 利江さん(左)

青木 隆夫さん(右)

Information

川越市元町1-15-8
電話 049-227-8233
平日 9:30-17:00
土・日・祝 10:00-17:00
12月29日～1月2日休み



2 仲町観光案内所



昔ながらのものを
残そうとしている想いを伝えたい！
ふとしたところに佇む洋風建築が、
川越らしくて素敵です。

観光協会職員

福原 和子さん(左)

日向野 邦男さん(右)

Information

川越市仲町2-3
4月～6月 9:30-18:00
7月～10月 9:30-19:00
11月～3月 9:30-17:00
年中無休



川越のことは
おまかせ！

川越市 観光案内所って こんなところ

平日でも多くの観光客が訪れる川越。市内には4箇所の
観光案内所が設置されています。外国人対応はもちろん、
さまざまな情報をもって、訪れる人だけではなく
住んでいる人の質問に答えています。日によっては1000人以上の
対応をするスタッフは、もちろんみんな川越通。
ぜひ店舗・イベント情報などをお寄せください。

3 本川越駅観光案内所



外国語対応はお任せください！
市民の方にも毎日多く
ご利用いただいています。

Information

川越市新富町1丁目22
西武本川越ベベ1階
4月～6月 9:00-18:00
7月～10月 9:00-19:00
11月～3月 9:00-17:00
年中無休

チーフコンシェルジュ

間 志津江さん(右)

コンシェルジュ

林 明麗さん(左)



4 川越駅観光案内所



最近は欧米からの方のご利用も
増えてきました。
川越まつり会館のお囃子の実演が
おすすめです(日・祝のみ)。

Information

川越市脇田町24-9
電話 049-222-5556
4月～6月 9:00-18:00
7月～10月 9:00-19:00
11月～3月 9:00-17:00
年中無休

チーフコンシェルジュ

恩田 美也子さん



新入会員紹介

会員名	所在地	TEL
トリック 3D アート inCOEDO	〒350-0062 川越市元町 1-13-1	049-298-4727
株式会社丹青社	〒108-8220 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 19F	03-6455-8100
Dr. ストレッチ 川越店	〒350-1122 川越市脇田町 105 アトレ川越 6F	049-299-5070
川越産農産物ブランド化連絡会	〒350-8601 川越市元町 1-3-1 (事務局: 農政課)	049-224-5939

会員名	所在地	TEL
Coide	〒350-0057 川越市大手町 7-16	049-225-6675
川越プリン	〒350-0063 川越市幸町 1-13	049-277-5762
スウィート エール	〒350-0043 川越市新富町 1-8-11-202	—
はやしハム株式会社	〒350-1155 川越市大字下赤坂 671-4	049-264-1126

このページは広告が入っておりました

おもてなし Information

観光協会札の辻事務所の活用について

当観光協会の札の辻事務所（川越市元町1-15-8）は蔵造りの町並みに位置しており、多くの観光客の方が立ち寄ります。そこで、この事務所の一角を、会員の皆様の活動状況の展示や物販の場としてお貸しいたします。詳細については、下記担当者までお問い合わせください。

小江戸川越観光協会 山口 英史
TEL:049-227-9496

小江戸サミット開催

川越市、栃木県栃木市、千葉県香取市（旧佐原市）は、江戸との舟運で栄え、江戸情緒を残す蔵造りの町並みと江戸天下祭の影響を受けた山車祭りがあることから「小江戸」と呼ばれています。小江戸サミットは、3市の市長および市民が一堂に会し、「小江戸」をキーワードとするまちづくりについて考え、話し合う催しとして、平成8年に栃木市を会場として始まり、毎年続いています。今年は川越市での開催となり、11月18日（日）2市からの約100名が来川され、きものの日に合わせ着物姿で町中を散策され、交流会に望まれました。

小江戸川越
おもてなし
平成 30 年 12 月 28 日 発行

発行 公益社団法人 小江戸川越観光協会
〒350-0062 埼玉県川越市元町1-15-8
TEL：049-227-8233
印刷 株式会社 櫻井印刷所

本誌は著作権法の保護を受けています。
内容を無断で転写、複製、転載することは禁じられています。

撮影 中村香奈子 小松正樹 櫻井由理
デザイン 中榮康雄 佐藤ひろみ
編集 櫻井理恵

きもの 供養開催報告

11月18日（日）きもの日実行委員会により、きもの日7周年記念事業として「きもの供養」が市内蓮馨寺で執り行われました。事前にお引取りした着物17着の供養をおこないました。

平成 31 年度 小江戸ブランド産品 「川越セレクション」新規申請募集について

平成31年度小江戸川越ブランド産品「川越セレクション」の新規申請を受け付けます。この機会により多くの産品の申請を心よりお待ちしております。お申込み方法・支援活動などの詳細については、当協会HPをご覧ください。どうか、電話にてお問い合わせください。

申請受付期間 平成31年1月4日（金）～31日（木）
新規登録申請料 5,000円（1年後更新）



《編集後記》

今回の特集は、平成30年が明治150年に当ることから、江戸から明治、大正、昭和と時代を経るなかでの川越の変遷を振り返ってみました。明治26年の川越大火からも125年が経ちました。直後の復興として建てられた蔵造りはまさにその歳を迎えています。大火から100年目が平成5年でした。この年は一番街の電線類地中化工事が前年度に完成し、町並みにとっての新たな、晴れのデビューの年でもありました。そこから四半世紀、現在は人がいて当たり前の風景ですが、当時は「なぜ人がいない、モノが売れない」というところからのスタートでした。「民が主導し、公が支援する」川越流のまちづくりは今も全国の先進事例とされています。先達のご苦労や、時宜を得た決断が今の街をつくってきたように、今を生きる私達は、これからの川越に何を伝え、残していけるのか……過去のターニングポイントを取材するなか、思いを新たにしました。

（公社）小江戸川越観光協会 専務理事兼事務局長
加藤忠正